

応募者名	津和野町（商工観光課）	分野	観光、文化、娯楽
取組名称	観光DXで江戸時代のお城を再現 VR津和野城	取組地域	島根県津和野町

概要	
取組内容	津和野町の観光振興を目的に、日本遺産に登録された「津和野百景図」を網羅的に体験できるよう、百景図及びVRコンテンツ、古地図を観光プラットフォームアプリ「ストリートミュージアム®」に掲載した。現在、津和野城は石垣しか残されておらず、現地で在りし日の姿を想像することは難しい。そこで江戸時代の津和野城をVRで高精細に再現するだけでなく、その場所ごとのVRを音声ガイドと共に楽しめるアプリを設計した。さらに古地図機能では、古地図と百景図を同時に見ながら街歩きができる。本取り組みにより、観光資源の魅力向上や地域の歴史への理解の深化、市内周遊促進による観光客の滞在時間増加につながり、地域経済の活性化に貢献している。
実績や効果	コロナ禍で観光業が厳しい環境にある中、「VR津和野城」の導入により、津和野城跡へいくことができる観光リフトの利用者数が増加している。 【取り組み前】15,849人/年（2018年） 【取り組み後】16,176人/年（2023年） 【得られる効果】津和野城をきっかけとした観光客の誘致が進み、地域経済の活性化に貢献している。
取組全体を通じて訴えたいポイント	城郭復元には通常莫大な費用がかかり、庁内リソースも限られる中、「ストリートミュージアム®」というプラットフォームアプリの利用により、最小限の運用やセキュリティ管理、ユーザーサポートの負担で、効率的に復元が可能となった。さらに、VR活用は小中学生の城跡訪問にもつながり、教育的効果も期待されている。

詳細	
地域の課題解決・魅力向上	現在は石垣のみが残る津和野城を、当時の荘厳な姿として再現し、観光資源として提供することで、観光価値向上に努めた。さらにVRスポットを城郭内と町内に複数個所設けることで周遊促進を図り、観光客の滞在時間を延ばすことで地域経済の活性化に貢献している。
独自性・先進性	先進的なVR技術を利用して江戸時代の津和野城を高精細に再現し、観光客が現地で当時の姿を体験できる新しい観光体験を提供。さらに、マップ上には、津和野百景図が描かれた場所がマッピングされており、古地図機能と併せて城下町を歩くことで、地域の歴史と文化を深く理解できる点でユニークなアプローチとなっている。
持続性・発展性	TOPPANの運営する「ストリートミュージアム®」は観光プラットフォームアプリであり、他自治体の史跡同士の相互送客が可能である。さらに、運営元がアプリの定期更新やユーザーサポートを行い、安定した観光資源の提供ができるため、新規ユーザー獲得による津和野町への観光客誘致や持続的な地域経済成長につながっている。
他地域への横展開	本取り組みは、複数の旅行会社（読売旅行、クラブツーリズム、阪急交通社等）から問い合わせがあり、ツアー添乗員からお客様にVRパンフレットを配布して頂いている。また、歴史・観光雑誌やガイド本（月刊『江戸楽』、山陰史跡ガイドブック『山陰の城館跡』島根県教育委員会）に紹介され、他地域への周知・波及が進んでいる。
取組を進めるうえで苦労した点	VR復元の際、津和野城は元々石垣しか残されておらず資料も限られていたため、天守の位置の特定等の作業は困難であった。そこで、建築史や文化財の専門家との密なコミュニケーションを重視し、制作現場では建物・石垣のリアルな再現に注力。その結果、地域魅力向上に寄与するようリアルな復元につなげることができた。
取組の成果を上げることが出来た秘訣・工夫	地域の魅力を伝えるため、津和野城を学ぶ小冊子や漫画を作成。近隣の小学校や修学旅行に配布するなど、子どもへのアプローチも取り入れた。VRコンテンツはデジタルネイティブの小中学生にも親しみやすく、子どもたちが興味を持つことで、親世代の認知にもつながり、津和野城観光リフトの利用者数増などの成果が出ている。

今後の展望	本取り組みにより現在、津和野城観光リフトの利用者が増加するなどの成果が出ている。今後は、旅行商品を拡充し、観光資源のさらなる魅力向上を目指す。また、持続可能な観光地の実現に向け、新しい登山ルートの開発も計画しており、観光客の滞在時間の延長や訪問者数の増加といった成果の継続・拡大も図る。
-------	---